

令和 7年度予算見積調書

課室名：医療人材課
担当名：看護・医療人材担当
内線：3543

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S138	ICT導入による看護業務改善を目指す病院へのアドバイザー派遣事業			一般会計	衛生費	医薬費	保健師等指導管理費	看護指導費	
事業期間	令和 6年度～令和 8年度	根拠法令	看護師等の人材確保の促進に関する法律			針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	3
						分野施策	0304 医師・看護師確保対策の推進	SDGsターゲット	3-8
1 事業概要 県内病院に対して、ICT導入等による看護業務効率化の実現を支援するアドバイザーを派遣する。 また、アドバイザーの協力のもと、導入前後における業務量や勤務時間数、離職率・新規採用者の定着率等を分析し、好事例を他の医療機関に発表・紹介することにより、県内における横展開を図る。 ICT導入による看護業務改善を目指す病院へのアドバイザー派遣事業 32,961千円				5 事業説明 (1) 事業内容 看護業務効率化やICTに関する知識・ノウハウが乏しい病院に対してアドバイザーを派遣し、業務の可視化・課題把握を支援。 各医療機関の課題・環境に応じた適切な業務効率化とそれに伴い必要なICT・ロボット導入を助言・提案することにより円滑かつ無駄のない業務効率化を支援する。 (2) 事業計画 ア 支援対象：県内に所在する病院 *医療圏等の地域性、医療機能（急性期、回復期、慢性期）、業務改善効果（残業時間、離職率、欠員状況等）などから対象を選定（選定時は業務改善計画などでの審査を行う） イ 支援対象件数：7施設 ウ 対象機関 1 施設における支援スキーム ・業務効率化及びICTなどの導入に関する方針・導入計画策定の支援（6～3月） エ その他 アドバイザー派遣による結果（ICT等導入による業務効率化・省力化事例）については、好事例として県内各病院を対象とした事例発表会などを行うことにより県内における周知・啓発を図る。 (3) 事業効果 ICT等の導入による看護業務効率化を支援し、看護職員が効率化・省力化された就業環境で看護業務に従事できるようにすることにより残業時間の減少や看護職員の安定・継続した就業を実現し、離職率の減少を図る。 また、離職率の低下による勤務継続によって、看護職員看護技能が安定するほか、省力化・効率化により、看護業務に従事する時間が増加することを通じて県民に対して質の高い安定した看護サービスの提供を図る。 【活動指標（アウトプット）】 アドバイザーの派遣 7施設、好事例発表会の実施（アドバイザー支援後年1回） 【成果指標（アウトカム）】 残業時間減少（25%減）、離職率低下（50%減）、好事例の横展開（85施設）					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		繰入金							
決定額	32,961	32,961						0	0
前年額	32,961							32,961	

事業内訳書

事業名	ICT導入による看護業務改善を目指す病院へのアドバイザー派遣事業		
単位事業名	ICT導入による看護業務改善を目指す病院へのアドバイザー派遣事業	予算額	32,961千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 地域医療介護総合確保基金繰入金	32,961	32,961	
一般財源	0	△32,961	
合計	32,961	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	42	0	支援対象施設の支援状況検査にかかる旅費 1,000円×7施設×3回×2人
委託料	32,879	0	ICT導入アドバイザー派遣業務委託
使用料及び賃借料	40	0	事例発表会会場賃借料 40,000円×1回
合計	32,961	0	